PARIS ←→→ KYOTO



インターンシップ交流事業 報告

~ 第2期生をフランスへ派遣~

ップ生を派遣しています

パリ・リモージュ

上、

今回、 京都から第2期生と

門校で働いている児玉みなみ と京都府立陶工高等技術車 攻する今井完眞さん(22歳 して派遣したのは京都市出身 東京藝術大学で陶芸を専

取り組みました。

程全般の実習や制作活動 ベルナルド社で3週間

製造

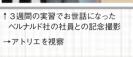
力

う若手職人や学生などの資質 パリの伝統産業の将来を担 友好協定に基づい 所は、 グローバルな人材の育 相互にインターン 商 工会議 所と

グレゴワ パリ商工会議所 人養成学校(エ ール・フェ ランデ 1 ル

フランス大手陶磁器メー との交流 の視察や日仏若手デザイナ リモージュ市 運営す では

月 から1ヶ月間 (27歳) の2名の実習生 ハリ市







通じて、 進めてまいります 過性 たい」との感想がありました。 統産業の発展につなげ 人の育成・支援を積極的 本所では、今後も本事業を 研修を終えたお二 「学んだ知識、 ものにせず、 京都とパリの有望 京都の 経 てい 験 人 を か 3

「ビジネスに対する 意識の変化」

児玉 みなみ

(京都府立陶工高等技術専門校)

1ヶ月間の研修を通して、技術に関しては日仏で共通 する点は多く見られましたが、ビジネスや事業運営の方 法に多くの違いを実感しました。フランスは、日本と比 べると家柄や経歴に捉われすぎることなく、個々の能力 を評価する柔軟性があり、芸術家を育成するうえで国や 組織のサポート体制が充実している印象を受けました。 文化・技術を受け継ぎ発展させていくためには、個々の 努力はもちろんのこと、外部からの継続的な支援が不可 欠であると感じます。今回の研修を通じて、技術だけで はなく、ものづくりとビジネスに対して意識が高まった ことは大きな収穫となりました。この貴重な経験を今後 の制作活動に積極的に活かしていきたいと思います。



今井 完眞

(東京藝術大学 美術学部工芸科)



ベルナルド社での実習をはじめ、様々な分野のトップク ラスの方の話を実際に聞くことができ、大変内容の濃いも のとなりました。私の実家は陶芸作家で山科の清水焼団 地に工場があります。この地域には陶芸に関する様々な お店が密集していますが、必ずしも活気づいているとは言 えません。私が通う東京藝術大学でも、卒業後に作家とし て生活できる人はほんの一握りです。安価な製品が海外 から流れ込む中、我々が活路を見出すのは海外に進出する しかないと思います。京都には、優れた技術をもつ職人さ んや他にはない技術・素材が数多く存在し、大きな可能性 を秘めています。今回のインターンシップ事業で、国際的 なものの捉え方を身に付ける必要性を強く感じるととも に、より一層創作意欲も高まりました。このような機会を 与えていただき、本当にありがとうございました。